

平成23年12月13日公表

農業経営統計調査

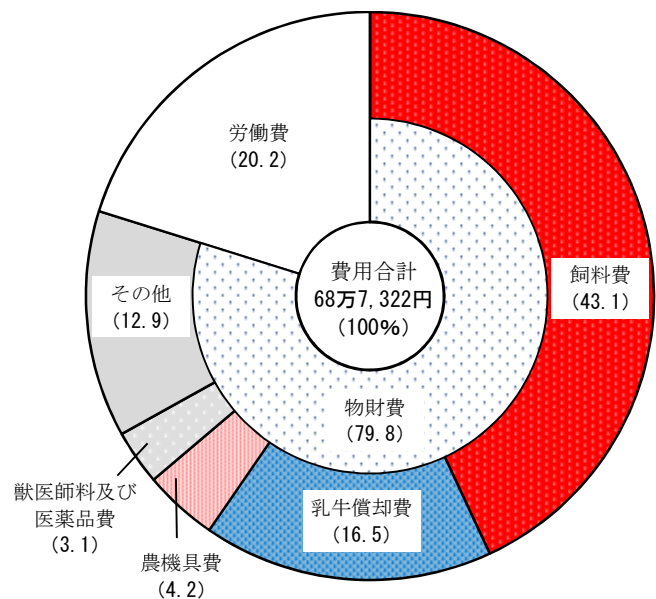
平成22年度 牛乳生産費（北海道）

－ 搾乳牛通年換算1頭当たり全算入生産費は、
飼料費の減少等により前年度に比べ0.9%減少 －

【調査結果の概要】

- 平成22年度の搾乳牛通年換算1頭当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は64万6,478円で、前年度に比べ0.9%減少し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）全算入生産費は7,263円で、前年度に比べ1.1%増加した。
- 搾乳牛通年換算1頭当たり全算入生産費が減少したのは、肥料価格の低下等により牧草・放牧・採草費が減少し、飼料費が減少したこと等による。
- 搾乳牛通年換算1頭当たり粗収益は、乳価が低下したことにより前年度に比べ2.7%減少し、70万2,552円となった。

図 主要費目の構成割合
（搾乳牛通年換算1頭当たり）



注： 飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

表1 平成22年度牛乳の生産費及び収益性

区分	搾乳牛通年換算1頭当たり		生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	548,713	1.4	6,165	3.5
労働費	138,609	0.4	1,558	2.5
費用合計	687,322	1.2	7,723	3.3
生産費（副産物価額差引）	596,062	△ 0.6	6,697	1.4
支払利子・地代算入生産費	609,769	△ 0.8	6,851	1.3
資本利子・地代全額算入生産費	646,478	△ 0.9	7,263	1.1
粗収益	702,552	△ 2.7	-	-

注： 集計経営体数は、245経営体である。

なお、経営体とは2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行う経営体のことであり、調査対象の範囲は従来と同じである。調査の対象は、【調査の概要】8ページを参照。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html>】

◎調査結果の利活用

加工原料乳生産者補給金算定の資料として利用されているほか、生乳の生産農家における経営改善資料として利活用。

【累年データ】

牛乳生産費の推移（北海道）

北海道	搾乳牛通年換算 1頭当たり 全算入生産費	生乳100kg当たり (乳脂肪分3.5% 換算乳量) 全算入生産費	搾乳牛通年換算 1頭当たり 粗収	主産物価額	搾乳牛通年換算 1頭当たり 投下労働時間
	円	円	円	円	時間
平成11年度	564,061	6,732	618,004	569,182	100.53
12	556,789	6,556	633,843	569,407	100.50
13	564,014	6,546	643,279	578,776	99.34
14	565,390	6,396	666,949	591,414	98.65
15	575,228	6,394	676,265	599,920	97.85
16	588,591	6,548	667,780	588,308	96.36
17	595,232	6,596	660,699	576,720	95.32
18	590,372	6,665	636,760	552,446	94.40
19	611,614	6,917	643,542	555,047	91.19
20	655,723	7,283	681,391	601,303	90.70
21	652,232	7,181	721,753	642,302	90.40
22	646,478	7,263	702,552	611,292	90.24

資料：農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報（農業経営統計編）」

注：平成11年度～17年度は、既に公表した『平成12年 牛乳生産費』～『平成18年 牛乳生産費』に対応するデータである。

【調査結果】

1 搾乳牛通年換算1頭当たり全算入生産費は64万6,478円で、前年度に比べ0.9%減少した。

これは、肥料価格の低下等により牧草・放牧・採草費が減少し、飼料費が減少したこと等による。

2 生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）全算入生産費は7,263円で、前年度に比べ1.1%増加した。

表2 牛 乳 生 産 費

区 分	単位	平成21年度	平成22年度		対前年度 増減率
			実数	構成比	
搾乳牛通年換算1頭当たり				%	%
物 財 費	円	541,209	548,713	79.8	1.4
うち飼料費	〃	299,048	295,997	43.1	△ 1.0
乳牛償却費	〃	107,135	113,485	16.5	5.9
農機具費	〃	28,012	29,003	4.2	3.5
獣医師料及び医薬品費	〃	20,830	21,460	3.1	3.0
労働費	〃	138,057	138,609	20.2	0.4
費用合計	〃	679,266	687,322	100.0	1.2
全算入生産費	〃	652,232	646,478	-	△ 0.9
生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）					
全算入生産費	円	7,181	7,263	-	1.1
1経営体当たり搾乳牛飼養頭数（通年換算）	頭	67.8	68.2	-	0.6
1頭当たり投下労働時間	時間	90.40	90.24	-	△ 0.2

【統計表】

1 生産費

区 分		物								
		計	種付料	飼 料 費			敷料費	光熱水料 及 び 動力費	その他の 諸材料費	獣医師料 及 び 医薬品費
				計	流 通 飼 料 費	牧草・ 放牧・ 採草費				
搾乳牛	平成21年度	541,209	10,714	299,048	185,056	113,992	8,126	18,125	950	20,830
通年換算	22	548,713	10,882	295,997	188,831	107,166	8,873	19,599	894	21,460
1頭当たり	対前年度増減率 (%)	1.4	1.6	△ 1.0	2.0	△ 6.0	9.2	8.1	△ 5.9	3.0
平成22年度費目別構成比 (%)		79.8	1.6	43.1	27.5	15.6	1.3	2.9	0.1	3.1
生乳 100 kg	平成21年度	5,959	118	3,292	2,037	1,255	89	200	10	229
当 たり	22	6,165	122	3,327	2,122	1,205	99	220	10	241
(乳脂肪分3.5% 換算乳量)	対前年度増減率 (%)	3.5	3.4	1.1	4.2	△ 4.0	11.2	10.0	0.0	5.2
生乳 100 kg	平成21年度	6,850	136	3,785	2,342	1,443	103	229	12	264
当 たり	22	6,983	139	3,768	2,404	1,364	113	249	11	273
(実搾乳量)	対前年度増減率 (%)	1.9	2.2	△ 0.4	2.6	△ 5.5	9.7	8.7	△ 8.3	3.4

区 分		労 働 費					費 用 合 計			
		計	直 接 家 族 労 働 費	間 接 労 働 費	自給牧草 に係る 労 働 費	計	購 入 (支払)	自 給	償 却	
搾乳牛	平成21年度	138,057	126,643	126,386	11,671	9,630	679,266	297,736	246,658	134,872
通年換算	22	138,609	126,505	126,793	11,816	9,635	687,322	306,707	239,263	141,352
1頭当たり	対前年度増減率 (%)	0.4	△ 0.1	0.3	1.2	0.1	1.2	3.0	△ 3.0	4.8
平成22年度費目別構成比 (%)		20.2	18.4	18.4	1.7	1.4	100.0	44.6	34.8	20.6
生乳 100 kg	平成21年度	1,520	1,394	1,392	128	106	7,479	3,279	2,715	1,485
当 たり	22	1,558	1,422	1,426	132	108	7,723	3,446	2,689	1,588
(乳脂肪分3.5% 換算乳量)	対前年度増減率 (%)	2.5	2.0	2.4	3.1	1.9	3.3	5.1	△ 1.0	6.9
生乳 100 kg	平成21年度	1,748	1,603	1,600	148	122	8,598	3,769	3,122	1,707
当 たり	22	1,764	1,610	1,614	150	123	8,747	3,902	3,046	1,799
(実搾乳量)	対前年度増減率 (%)	0.9	0.4	0.9	1.4	0.8	1.7	3.5	△ 2.4	5.4

注：1 飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

2 物財費の償却費については、平成19年度及び平成20年度の税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ算出した。なお、算出方法については、【調査の概要】8ページを参照。

単位:円

財			費							
賃借料 及び 料 金	物件税 及び公課 諸負担	乳 牛 償却費	建 物 費		自 動 車 費		農 機 具 費		生 産 管 理 費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
13,626	12,064	107,135	18,426	13,909	2,522	1,110	28,012	12,681	1,631	37
14,068	11,793	113,485	18,475	13,997	2,557	1,111	29,003	12,726	1,627	33
3.2	△ 2.2	5.9	0.3	0.6	1.4	0.1	3.5	0.4	△ 0.2	△ 10.8
2.0	1.7	16.5	2.7	2.0	0.4	0.2	4.2	1.9	0.2	0.0
150	133	1,180	203	153	28	12	309	140	18	0
158	133	1,276	207	157	28	12	326	143	18	0
5.3	0.0	8.1	2.0	2.6	0.0	0.0	5.5	2.1	0.0	nc
172	153	1,356	233	176	32	14	355	161	20	0
179	150	1,445	235	178	32	14	369	162	20	0
4.1	△ 2.0	6.6	0.9	1.1	0.0	0.0	3.9	0.6	0.0	nc

副産物価額	子 牛	生産費 (副産物 価額引)	支払利子	支払地代	支払利子・ 地代算入 生産費	自 己 資本利子	自作地 地 代	資本利子・ 地 代 算 入 費 〔 全 算 入 〕 〔 生 産 費 〕	
79,451	59,368	599,815	9,336	5,296	614,447	15,990	21,795	652,232	
91,260	70,372	596,062	8,602	5,105	609,769	15,685	21,024	646,478	
14.9	18.5	△ 0.6	△ 7.9	△ 3.6	△ 0.8	△ 1.9	△ 3.5	△ 0.9	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
875	654	6,604	103	58	6,765	176	240	7,181	
1,026	791	6,697	97	57	6,851	176	236	7,263	
17.3	20.9	1.4	△ 5.8	△ 1.7	1.3	0.0	△ 1.7	1.1	
1,006	751	7,592	118	67	7,777	202	276	8,255	
1,162	896	7,585	109	65	7,759	200	268	8,227	
15.5	19.3	△ 0.1	△ 7.6	△ 3.0	△ 0.2	△ 1.0	△ 2.9	△ 0.3	

2 生産概況（搾乳牛通年換算1頭当たり）

区 分	1 経営体 当 たり 搾 乳 牛 飼 養 頭 数 (通年換算)	主 産 物					
		生 乳					
		実搾乳量	価 額	乳脂肪分	無 脂 乳 固 形 分	3.5 % 換 算 乳 量	100 kg 当 たり 乳 価
平成 21 年 度	頭	kg	円	%	%	kg	円
	67.8	7,901	642,302	4.02	8.69	9,083	7,072
22	68.2	7,856	611,292	3.96	8.72	8,896	6,872
対前年度増減率 (%)	0.6	△ 0.6	△ 4.8	△ 0.06	0.03	△ 2.1	△ 2.8

注：1 乳脂肪分及び無脂乳固形分の対前年度増減率は対前年差である。

2 100kg当たり乳価は、主産物の生乳の価額を3.5%換算乳量で除して算出したものである。

3 労働時間（搾乳牛通年換算1頭当たり）

区 分	計	直 接 労 働 時 間					
		家 族	飼 育 労 働 時 間				
			飼 料 の 調 理 ・ 給 与 ・ 給 水	敷 料 の 搬 入 ・ きゅう 肥 の 搬 出	飼 育 管 理	搾 乳 及 び 牛 乳 処 理 ・ 運 搬	きゅう肥の 処 理
平成 21 年 度	90.40	81.68	17.26	9.07	10.13	45.82	0.08
22	90.24	81.47	17.40	9.38	10.24	44.89	0.09
対前年度増減率 (%)	△ 0.2	△ 0.3	0.8	3.4	1.1	△ 2.0	12.5

4 収益性

単位：円

区 分	搾 乳 牛 通 年 換 算 1 頭 当 たり 粗 収 益	所 得		家 族 労 働 報 酬	
		搾 乳 牛 通 年 換 算 1 頭 当 たり	1 日 当 たり	搾 乳 牛 通 年 換 算 1 頭 当 たり	1 日 当 たり
22	702,552	128,028	12,572	91,319	8,967
対前年度増減率 (%)	△ 2.7	△ 17.1	△ 16.9	△ 21.8	△ 21.6

副 産 物				
子 牛		き ゆ う 肥		
生産頭数	価 額	搬 出 量	利 用 量	利用価額
頭	円	kg	kg	円
0.92	59,368	14,927	14,296	20,083
0.94	70,372	14,974	13,982	20,888
2.2	18.5	0.3	△ 2.2	4.0

単位：時間

間	間 接 労 働 時 間	
生産管理	自 給 牧 草 に 係 る 労 働 時 間	
1.02	7.02	5.70
0.99	7.25	5.77
△ 2.9	3.3	1.2

5 経営概況（1経営体当たり）

世 帯 員	農 業 就 業 者			経 営 土 地 面 積			
	計	男	女	耕 地		畜 産 用 地	
				牧 草 地	放 牧 地		
人	人	人	人	a	a	a	a
4.9	2.7	1.6	1.1	5,519	4,932	738	635
4.9	2.7	1.6	1.1	5,380	4,785	713	603
0.0	0.0	0.0	0.0	△ 2.5	△ 3.0	△ 3.4	△ 5.0

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

農業経営統計調査の牛乳生産費統計は、牛乳の生産コストを明らかにし、加工原料乳生産者補給金の算定、経営改善対策の資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売した経営体を対象として実施した。

3 調査期間

この調査の期間は、平成22年4月から平成23年3月までの1年間である。

4 調査方法

調査は、調査経営体に所定の現金出納帳・作業日誌（記録簿）を配布し、これに日々の生産資材の購入・使用、生産物の販売、労働時間等を調査経営体が記帳する自計調査の方法を基本とし、センター職員による調査経営体に対する面接調査の併用によって行った。

また、希望する調査経営体においては、牛資産の異動状況等の管理について、（独）家畜改良センター所管の牛個体識別台帳データを活用した。

5 調査経営体数

250経営体（集計経営体数：245経営体）

6 集計方法

各調査経営体ごとにウェイトを定め、集計対象とする区分ごとに加重平均法により算出した。

この場合のウェイトとは、北海道の飼養頭数規模別に、該当する取りまとめ調査経営体数を畜産統計調査結果における乳用牛成畜頭数規模別飼養戸数で除した「標本抽出率」の逆数としている。

7 実績精度

生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費を指標とした実績精度は、1.0%である。

8 減価償却計算の見直しに伴う減価償却額の算出方法

- (1) 平成19年度以降の農業経営統計調査（牛乳生産費統計）における減価償却額は、平成19年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ、以下のとおり算出した。

ア 平成19年3月31日以前に取得した資産

(ア) 償却中の資産

1か年の減価償却額＝（取得価額－残存価額）×耐用年数に応じた償却率

(イ) 償却済みの資産

1か年の減価償却額＝（残存価額－1円（備忘価額））÷5年

ただし、平成20年1月から適用した。

イ 平成19年4月1日以降に取得した資産

1か年の減価償却額＝（取得価額－1円（備忘価額））×耐用年数に応じた償却率

- (2) 平成21年度の農業経営統計調査（牛乳生産費統計）における減価償却額は、平成20年度税制改正における減価償却計算の見直し（資産区分の大括化、法定耐用年数の見直し）を踏まえ算出した。

9 用語の解説

- (1) 搾乳牛通年換算1頭当たり生産費とは、1経営体当たり生産費を年間月平均搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）飼養頭数で除して算出したものである。

(2) 生乳100kg当たり生産費とは、搾乳牛通年換算1頭当たり生産費を、乳脂肪分3.5%換算乳量又は実搾乳量で除して算出したものである。

なお、乳脂肪分3.5%換算乳量の算出方法は、以下のとおりである。

$$\text{乳脂肪分3.5\%換算乳量} = \frac{\text{乳脂肪量 (実搾乳量} \times \text{乳脂肪分)}}{0.035}$$

(3) 家族労働費とは、家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業及び運輸業・郵便業（平成21年度（調査期間：平成21年4月から平成22年3月）は、旧産業分類の建設業、製造業及び運輸業の3業種としている。ただし、平成22年1月以降は22年度に準じる。）に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものである。

(4) 自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作物の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものである。

(5) 自己資本利子とは、総資本額から借入資本額を差し引いた自己資本額に年利率4%を乗じて算出したものである。

(6) 「収益性」の所得及び家族労働報酬の算出方法は、以下のとおりである。

ア 所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕

ただし、生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代

イ 1日当たり所得＝所得÷家族労働時間×8（1日換算）

ウ 家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）

エ 1日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×8（1日換算）

10 統計表の見方等

表中に用いた記号は以下のとおりである。

「0」： 単位に満たないもの（例：0.4→0）

「-」： 事実のないもの

「△」： 負数又は減少したもの

「nc」： 計算不能

11 その他

この資料の詳細な数値は、平成24年3月刊行予定の『北海道農林水産統計年報（農業経営統計編）』に掲載する。

【 ホームページ掲載案内 】

○ この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページの中の「統計情報」－「農林水産統計」に掲載しています。

【 <http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html> 】

問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省 北海道農政事務所 統計部
経営・構造統計課
電話：011-642-5611（ダイヤルイン）

◎農林水産統計全般について
農林水産省 北海道農政事務所 統計部
統計企画課企画係
電話：011-642-5609（ダイヤルイン）